

器楽（弦）

[演習] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

音楽理論やソルフェージュで学んだ知識をもとに、音楽を療法的に用いるために必要な弦楽器の知識と技能を習得する科目である。

【学修目標】

音楽療法を実施するために必要なギター（ウクレレ）の基礎知識と演奏技能を身につける。

1. ギター（ウクレレ）の構造と機能を説明できる。
2. 弦の張替え、楽器の構え方や演奏姿勢を理解し、基本奏法が安全に実施できる。
3. コード譜を読み取り弾くことができる。
4. 移調して演奏することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・授業の進め方、授業概要、評価方法の説明	近藤里美
2) 3	弦楽器の取り扱い	・ギター（ウクレレ）の構造の理解 ・弦の張替え、チューニングの習得	近藤里美
4) 15	弦楽器演奏の基本	・基本コードの学習 ・基礎的なストラミング奏法の理解と技能の習得	近藤里美
16) 29	弦楽器演奏の応用	・アルペジオなど様々な演奏法の習得 ・曲想に適した演奏法の選択と実施	近藤里美
30	まとめ	これまでの学習の確認と課題の整理	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

平常点 50%、授業内で行う技能達成確認テスト50%

【教科書】

特に指定しない。必要な資料・楽譜は授業で配布する。

【参考書】

「アコースティックギターの教科書」 ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス 2017年

【備考】

学習形態は、個々の能力に沿った個人、または小グループレッスンを基本とする。

【学修の準備】

- ・あらかじめ配布された資料・楽譜をもとに、十分な事前練習を行うこと。
- ・毎回の授業後には、各自の課題点を整理し十分に復習すること。
- ・事前学修・事後学修に各々80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関及び介護保険施設などでの実務経験を活かし、音楽療法に必要な弦楽器の技能演習を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している